

中野区教育委員会会議録 平成26年第18回定例会

○開会日 平成26年6月6日(金)

○場 所 中野区教育委員会室

○開 会 午前 10時00分

○閉 会 午前 10時17分

○出席委員

中野区教育委員会委員長	小 林 福太郎
中野区教育委員会委員	渡 邊 仁
中野区教育委員会委員	高 木 明 郎
中野区教育委員会委員	大 島 やよい
中野区教育委員会教育長	田 辺 裕 子

○出席した関係職員

教育委員会事務局次長	高 橋 信 一
副参事(子ども教育経営担当)	辻 本 将 紀
副参事(学校再編担当)	石 濱 良 行
副参事(学校教育担当)	伊 東 知 秀
指導室長	川 島 隆 宏
副参事(子ども教育施設担当)	伊 藤 正 秀

○担当書記

子ども教育経営分野	片 岡 和 則
子ども教育経営分野	高 橋 綾 菜

○会議録署名委員

委員長	小 林 福太郎
委 員	高 木 明 郎

○傍聴者数            7人

○議事日程

〔報告事項〕

(1) 委員長、委員、教育長報告事項

(2) 事務局報告事項

① 小・中学校校舎等耐震補強工事の実施について（子ども教育施設担当）

中野区 教育委員会  
第18回定例会  
(平成26年6月6日)

午前10時00分開会

小林委員長

おはようございます。

教育委員会第18回定例会を開会いたします。

本日の委員の出席状況は全員出席です。

本日の会議録署名委員は、高木委員にお願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりです。

ここで傍聴の方にお知らせをいたします。

本日の事務局報告事項の資料は、区議会への報告前の資料となりますので、後ほど回収をさせていただきます。傍聴の方はご退室の際に事務局へ資料の返却をお願いいたします。

それでは、日程に入ります。

<報告事項>

<委員長、委員、教育長報告>

小林委員長

まず、委員長、委員、教育長報告です。

5月30日の第17回定例会以降の委員の活動について、各委員から報告がありましたらお願いいたします。私のほうからは特にございませぬ。

それでは、よろしくをお願いいたします。

渡邊委員。

渡邊委員

私は昨日の夜なのですけれども、中野区医師会で学校関係者に対する食物アレルギーの講演会を、女子医大の小児科の教授を招いて開催させていただきました。その際に、学校関係者向けの講演会ということで、教育委員会を始め学校にアナウンスをさせていただきました。そして当日、夜7時からの開催にもかかわらず教育委員会事務局はもとより、幹部は全員、また中学校、小学校の学校長もほぼ全員出席、そして養護教員と教員、幼稚園関係者、食事の栄養士の関係者等、約170名ぐらい参加していただきました。

私としては、教育委員をやっている傍ら、医師会の関係で子どもたちの健康を守るという意識で小児学校保健を担当しておるのですけれども、この中野区の教育委員会を始め、学校長、教育関係者の危機管理意識が非常に高いということと、夜にもかかる勤務外の講演会にもかかわらず、多くの先生に参加していただいたという、向上心とか向学心という

ものに対して、こういうところで適切な言葉ではないかもしれないですけども、とても感動しました。こういったことが中野区の教育を支えているという証明として、一つのあらわれとなったと思いますので、ここでご報告させていただきます。

内容的には基本的なところから、アレルギーのメカニズム、アレルギーの現状、そして対応法、今後すべき対応とか一連に関して、一部難しい話もあったかとは思うのですけれども、聞きにこられた方はそれなりに勉強になったのではないかなと思っております。

本当に中野区の教育関係者の意識の高さに改めて感銘をいたしましたので、ご報告させていただきます。以上です。

小林委員長

では、大島委員。

大島委員

私は5月31日土曜日に、上高田小学校の運動会を見にいってまいりました。この日は多分小学校の運動会の集中日で、いろいろな学校で行われていたと思うのですが、すごく暑い日です。熱中症も心配されるような天候だったのですけれども、もちろん、学校のほうでも水分補給など十分気をつけるようにということで指導しながらの運動会でした。でも、みんなすごく元気いっぱい、応援合戦なんかもとても元気いっぱい楽しい雰囲気での運動会でした。

ちょっと細かいことで、前から気になっているのですけれども、玉入れが最近「チェッコリ玉入れ」というのをやるのが主流になっていまして、昔、私たちのころの玉入れは、ただ玉を入れるだけだったのですけれども、チェッコリで音楽つきでダンスつきなのです。ダンスを踊る時間がある、玉を入れる時間がある、またダンスをやるといって、すごく楽しい雰囲気が出る玉入れだと思えるのですけれども、個人的には玉を入れる時間が少ないのでどうなのかなと。何でこれが主流になっているのかは不勉強で、今度どなたかに教えていただけたらと思っているのですけれども。別に批判する意図では全然なく、大変楽しいのですけれども、私のころと変わっているのだからちょっと何でかなと思ったりしていました。

そんなことで、あとは未就学児の子どもさんたちが、幼稚園児とか小さいお子さんが参加する、駆けっこをして賞品をもらうというようなプログラムがあったのですけれども、校長先生が一生懸命子どもたちの世話をし、抱っこして駆けっこしたりして、おじいさんと孫みたいですごくほほ笑ましい感じだったりしました。

それと、直接的には個人的な体験では全然ないのですけれども、最近、テレビを見ていると、小さい子どもさんで行方不明といますか、所在不明になっているお子さんが結構たくさんいるということが問題になっていまして、住民登録のところに行行政の係の人が行って、いないと、行方を探すのではなくて住民登録を抹消して済ませていたみたいなおとで問題になったりしておりますけれども、中野区ではそんなことはないと思うのですけれども、その辺中野区でも十分取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

小林委員長

では、高木委員。

高木委員

特にございませぬ。

小林教育長

では、田辺教育長。

教育長

先ほど渡邊委員からご紹介がありました、昨日6月7日、医師会主催のアレルギーの研修会に私ども事務局も参加させていただきました。ご紹介にあったように大勢、学校・保育園関係者が勉強させていただいて、いい機会を与えていただいて本当にありがたかったです。

アレルギーの研修って、アレルギーの症状が出たときにどうするかということはほとんど各学校でやっているのだと思うのですけれども、アレルギーの今の現状がどうなっているのかという、アレルギーのメカニズムってちょっと難しいところもあって、私は素人だったのでなかなかわからなかったのですけれども、とても複雑なものだなということがわかりました。アレルギー自体は3歳児で、平成11年のときに全体の7.1%だったのが、21年には14.4%と倍以上ふえているということがあって、このこと自体どうなのかというお話がありましたけれども、大抵食物アレルギーというのは、消化器から吸収されることによって症状が出るというふうに思っていて、そういうのがほとんどなのでしょうけれども、それ以外に皮膚から吸収されてアレルギー反応を起こすすとか、食物依存性運動誘発アナフィラキシーというのがあって、食べ物を食べた後、走ったりするとアレルギーを起こすということがあるのだそうで、それからアトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係もだんだんわかってきているということがあって、アレルギー全体のどうして起こるか、それ

にどういふふうに対応しているのかということをおよびよくわかりやすく説明していただいたので、学校の関係者や現場の職員の人たちも対症療法だけではなくて、その原因がどうなっているのかということが理解できたことで、これからの子どもたちへの対応というのち、あるいは保護者への対応というのち一歩進めた形でできるのではないかなと思ひまして、いい研修を受けさせていだいて本当にありがとうございました。以上です。

小林委員長

私から補足なのですが、ちよび先週末ぐらひが春の運動会のピークで、熱中症対策とかさまざま他の地区では救急搬送されるとか、そういうことちもありましたけれども、ちよび先週の金曜日の夜、NHK 9時からのニュースだったと思ひのですが、緑野小学校がしっかりと熱中症対策をやっているということで、結構長時間紹介をされておりました。緑野小学校では小まめに水を飲ませるとか、木陰で指導するとか、そういうものち全教職員が共通理解のもとで、運動会の練習などもしっかり取り組んでいるということで、校長先生のインタビューなども出て、いい例として紹介をされておりましたので、これも日ごろ指導室初め、教育委員会からのしっかりとしたそういった指導とか研修とか、そういうものちの成果だと思ひのですが、今、大島委員からもお話がありましたように安全対策とか、もちろんいい面はいい面で評価をし、さらに危機管理という側面では今後いろいろなことちあろうかと思ひますので、また気を配っていかなければなと感じました。

ほかによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

小林委員長

それでは、他にご発言がないようちですので、事務局報告に移りたいと思ひます。

<事務局報告>

小林委員長

事務局報告事項、「小・中学校校舎等耐震補強工事の実施について」の報告をお願いいたします。

副参事（子ども教育施設担当）

私のほうから小・中学校校舎等耐震補強工事の実施についてご報告をさせていただきます。中野区区有施設耐震改修計画に基づきまして、小・中学校の校舎、体育館について耐震補強工事を実施するということちございます。

対象校ちございますが5校、桃園小学校、上高田小学校、向台小学校、第四中学校、第

五中学校に関しては体育館ということになります。

工事期間でございますけれども、本年7月から10月を予定しております、主要な工事は夏休み期間中に行う予定でございます。

3番目の工事箇所及び工事内容でございますけれども、校舎棟、体育館棟、それぞれ行いますけれども、主要な工事についてはごらんとおりになってございます。なお、向台小学校と第四中学校に関しては、平成27年度に第2期耐震補強工事を行う予定でございます。今年度は1期工事、来年度は2期工事ということになります。

保護者等への周知でございますけれども、学校を通じて周知していくということでございます。

簡単でございますけれども、以上のとおりでございます。

小林委員長

それでは、ただいまの報告につきまして、質問等ご発言がありましたらお願いをいたします。

高木委員

小学校が3校と中学校が2校、今回耐震補強工事をするということなのですが、現在のこれらの学校の校舎棟、体育館棟の耐震の状況、耐震ランクはどれぐらいで、例えばそこそこは行っているのだけれども念のために補強するとか、あるいはちょっと急いで補強しなくてはいけないとか、そういうのを素人にわかりやすくご説明をしていただきたいと思っております。

副参事（子ども教育施設担当）

区有施設の耐震改修計画では一番最後に位置づけされる学校でございます、一応耐震補強に関してはBランクのものということで、耐震性能自体は比較的高いものでございますけれども、避難所等になる関係から今回耐震補強を行っていくというところで、安全性が確保されているという状態の建物でございます。

高木委員

現状がBランクでそこそこ安全で、今回、耐震補強工事をする、例えばAランクとかになるのでしょうか。

副参事（子ども教育施設担当）

耐震補強工事を行った後についてはAランクの建物ということになってございます。

小林委員長



ほかにかがでしょうか。

大島委員

今回の工事で小・中学校の校舎や体育館については全部終わると考えていいのか、あるいは今回やってもまだやり残しているところがあるのか、その辺の状況をお願いします。

副参事（子ども教育施設担当）

向台小学校と第四中学校に関しては平成27年度も2期工事ということで継続して補強工事を行いますけれども、これら全てが終われば耐震補強工事は100%完了したということになります。

小林委員長

ほかによろしいでしょうか。

高木委員

ほかの区はもうほとんど100%になっていると思いますので、平成20年に新聞報道で中野区は耐震化率が23区で一番低いと出て、それから少ない予算の中、やりくりはしていただいたと思うのですが、ずっとそのまま下のほうで行っていたということもありますので。建ててはおくれ、建ててはおくれという状況もあったと思うのです。Bランクですから今すぐどうこうということではないと思うのですけれども、やはり今、いつ地震が起きるかどうかわからないという状況がありますので、ですから本当に今回はこれが最後にしていただいて、来年平成27年度には確実に耐震補強工事が完了するように、我々も不退転の決意で臨みたいと思います。

小林委員長

この件、ほかによろしいでしょうか。

先ほど担当から避難所になるという説明もありました。もちろん、これも非常に重要な視点ですが、まずは第一義的には子どもたちの安全・安心というのが第一優先だと思いますので、そういう視点で今、高木委員がお話ししたとおり最優先事項であるというふうに認識しております。

ほかによろしいですか。

それでは、そのほかに報告事項はございますでしょうか。

副参事（子ども教育経営担当）

ございません。

小林委員長

それでは、以上で本日の日程は全て終了いたしました。  
これをもって教育委員会第18回定例会を閉じます。

午前10時17分閉会